

みやぎの国保

4
2017 Spring
[No.268]

国保のなかまたち

利府町「人づくりで健康づくり」..... 2

Health Information..... 4

みやぎの頼れるサポーター..... 5

新国保制度に係るお知らせ..... 6

国保連コーナー..... 8

旬のたより..... 16

国保のなかまたち 利府町

【りふちよう】

利府町は宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市の中心部までは車で約30分、電車で約20分と利便性も高く、通勤、通学圏として人口も伸びてきました。今年、町制施行50周年を迎え、住民総参加の記念行事を予定しています。「住んでよかった。住んでみたい。」と言っていただけるまちづくりに積極的に取り組んでいます。



例年4月末に最盛期を迎える町花「梨の花」。奥には町に所在する新幹線総合車両センターとグランディ21が見える

市町村国保のいま

利府町では、人口増加や東日本大震災の影響により被保険者も増加していましたが、人口の伸びが鈍化していること、震災から5年以上経過して復職者が増加していることから、被保険者は減少する傾向にあります。また、加入者の高齢化や、医療の高度化により、今後はますます医療費の増加が予想されます。国保税の収納率は平成27年度決算においては91.8%で、徴収率の底上げが必要となっています。

<町の国保の概況>

	27年度	28年度
町の人口[人]	36,330	36,205
国保世帯数[世帯]	4,012	3,892
国保加入割合(被保険者数割)[%]	19.4	18.4
国保税収納率(現年分)[%]	91.8	86.0※
被保険者数[人]	7,030	6,670
1人当たり医療費[円]	334,036	316,924
特定健診受診率[%]	54.9	53.1

※3月末現在



〔表紙作者紹介〕
佐久間 誉之(サクマヤスユキ)
イラストレーター
仙台市生まれ。仙台の印刷会社を経て2007年よりイラストレーターとして独立。絵の具が乾く前に次の色を塗り足し(にじみ)や(ぼかし)をつくる[wet in wet]という水彩技法を使い自然風景や動物を描いております。
<http://sakuma-drops.com/>



春日の枝垂れ桜
大きな枝垂れ桜と聞き、カメラとスケッチブックを片手にワクワクしながら細い道に入ると、ひととき映える大きな枝垂れ桜がありました。道路沿いにも関わらず多くの人が足を止め、樹齢200年以上とされる枝垂れ桜に魅了されていました。

車両基地
懐かしい新幹線が並ぶ敷地に植えられた桜。スケッチ中に幼稚園児たちが楽しそうに新幹線や桜の木の下で遊んでいました。

国保事業の中心である保険年金班



▲「町の顔」である窓口の風景

利府町の国民健康保険は、町民課保険年金班が担当しています。同じ町民課の戸籍住民班において被保険者の異動があれば、速やかな連携が可能な体制になっています。

国保の担当者は5名で、資格取得・喪失などの窓口業務をはじめ、予算管理、データヘルス計画に基づく保健事業など行っています。

また、約7,000人の被保険者の健康増進のため保健福祉課とともに、町に適合した保健事業を計画し実施しています。

窓口では、「利府町の顔」として「親切丁寧な対応」をモットーとし、様々な相談や申請に来られるお客様に対し、爽やかな挨拶とわかりやすい説明を心掛けています。

その他国保関連業務として、国保税の賦課関係は税務課町民税班、徴収関係は収納対策室収納整理班、特定健診など保健事業は保健福祉課健康づくり班で行っており、関係課と連携しながら事業を実施しています。

国保の都道府県単位化に向けて

平成30年度から、県が財政運営の責任主体となり市町村が共同運営を行う、国民健康保険の都道府県単位化がはじまります。

利府町でも、制度改正にあたり、県で行っている各部会で検討されている事項など情報を収集するとともに、保険料率のシミュレーションやシ

ステム改修などを行い、改正に向けた整備をしています。

今回改正される制度により、持続可能な医療保険制度が構築され、効率的な国民健康保険事業の円滑な運営が図れることを期待します。

健康づくりでまちづくり

わがまちの取り組み

「人づくりで健康づくり」

利府町では、平成19年度から平成22年度まで、住民主体の健康づくり運動を地域で展開していくため、運動について自ら実践していける健康運動サポーターの養成を行い、受講者は現在も活発に活動しています。

主な活動として、高齢者を対象に開催している「お元気サロン」の講師として軽運動やストレッチの指導のほか、「ちょこっと貯筋体操教室」や「ウォーキング教室」では、運動指導のサポートをしています。また、健康運動サポーターの自主活動として「利府町ノルディックウォーキング歩こう会」を毎週木曜日に開催し、グランディ21から県民の森周辺をノルディックウォーキングで爽やかな汗を流しています。この活動は、口コミで広がり今では、健康運動サポーター以外の町民や町外の方々も参加されています。この活動の

様子は、ブログでもご覧いただくことができます。健康運動サポーターの皆さんの生き生きとした活動の様子をぜひご覧ください。(「利府町 Nordic Walking “歩こう会”」で検索!!)

また、利府町では、脳血管疾患や認知症の予防、早期発見を目的として、40歳から70歳までのうち5歳刻みの年齢の方を対象に、1万円を限度額として「脳検診助成事業」を実施しています。年間約100人の方が利用し自身の健康管理に役立てています。



▲ノルディックウォーキングで爽やかな汗を流し中!!



一昨年、祈禱で糖尿病を治そうとインスリン注射を中止させ、小学生が死亡する事件がありました。40年も前のことですが、私も同じような経験をしたことがあります。中学生の糖尿病患者が学校の担任から「インスリンなんて止めなさい、私が治す」と言われ中止し、昏睡で救急搬送されてきました。危機一髪で一命をとりとめました。今でも同じような事件があることに驚かされました。

糖尿病には大きく分けてI型とII型の病型があります。免疫異常・ウイルス感染などで膵臓障害を起こし、インスリン分泌が消失するのがI型糖尿病です。遺伝性は少なく、子供から青少年期に突然発病し、インスリン注射が必須です。II型糖尿病はインスリンがあるものの量的に少ないか、インスリンの効きが悪いために糖尿病を発症します。遺伝的要因が濃く、過食・肥満・運動不足などの生活習慣が発病の後押しをしています。

写真は平安時代の太政大臣「藤原道長」をモチーフにした切手です。阪神淡路大震災の前年、国際糖尿病学会が神戸で開催された記念に発行されました。「道長」は日本人で初めて記録に残る糖尿病患者として有名です。古文書や道長の日記の中に、口の渇き・多尿・化膿した皮膚病変など糖尿病を伺わせる症状が書かれています。恰幅の良い容姿からも美食・肥満が推測され、II型糖尿病と思われる。



▲国際糖尿病学会の開催記念に発行された「藤原道長」をモチーフにした切手

遡ること紀元前1500年、エジプトのパピルスにも記録が残っています。「口に火が付いたように渇き、尿が川のように流れる」など、糖尿病の症状を表していると思いませんか。

4000年の歴史があり、今になって増え続け、未だ完治の治療が見えない糖尿病は手ごわい病気です。

私が糖尿病を専攻した昭和46年頃の糖尿病患者は30万人程で、戦後増加してきたとはいえ患者数としてマイナーな病気でした。それが最近は患者と疑いを含めて900万人、予備軍も含めると2000万人に近づいています。

糖尿病患者のレセプトは高額です。患者の20%は食事・生活指導のみですが、40%は経口血糖降下剤が使われています。経口剤は次々と高額な新薬が発売され、作用機序の異なる複数の薬を工夫して処方しています。後の20%はインスリン治療ですが、高価な薬剤料の他に管理・指導料が上乗せになります。一方、糖尿病単独の患者は少なく、多くは高血圧・高脂血症、また心臓病や脳血管疾患などが高率に併発しています。高血圧か高脂血症を併発するだけで、医療費は1.5倍、心臓病・脳疾患があると3倍に跳ね上がります。

更に糖尿病特有の合併症も問題です。眼・腎臓・神経の障害が有名ですが、糖尿病で失明する患者は年間3000人を超えています。また糖尿病性腎症は人工透析になる原因のナンバーワンで、糖尿病患者だけの透析費用は年間7000億にもなっています。

国民総医療費は40兆円超えと発表されました。糖尿病医療費はその3%を超えています。

文明病である糖尿病へ立ち向かうために、一人一人が深刻に考える時になりました。



みやぎの 頼れる サポーター



みんなの健康を支えます!!

今回ご紹介するのは…

石巻市健康部保険年金課 技術主査 佐藤のり子さん

目標達成や成果を上げるため、市民等にフィードバックしていく!!

市民の健康保持のため重症化予防に取り組み中!!

石巻市健康部保険年金課に所属する佐藤さんは、現在、石巻市全体の特定健診及び保健指導(特定保健指導や重症化予防)の実施や事業運営をメインの仕事としている。

石巻市は平成17年に旧石巻市を中心として1市6町が合併したため、各地域の特徴が多様である。また、健診団体が複数あるため、佐藤さんは「事務が大変!」と思うことがあるそうだが、そんな多忙な中でも特定保健指導の石巻市直営実施や重症化予防をはじめ、各総合支所と連携を取りながら、市民の生活習慣病予防に取り組んでいる。

さらに今年度からは、「石巻管内で実施している『生活習慣病重症化予防の医療機関と地域保健の連携システム』の対象者を拡大し、糖尿病性腎症重症化予防にも取り組む予定です。」と、これからも市民の健康保持のために奮闘していくとのこと。



▲目標達成に向け、同僚と励み合っています!! (前列の真ん中が佐藤さん)

アンテナを高く持ち、情勢を正しく理解、そして共有していく

佐藤さんが所属する保険年金課は、特定健診や保健指導の実施に当たり、石巻市の中心的な役割を担っている。そのため常日頃から、「情勢をきちんと理解したうえで関係各所に情報提供すること」に加えて、保険年金課だけでは国が掲げる目標達成は難しいことから、周りと協力して達成するために「『今何が重要で、何をすべきか』を皆で共有できるようにアンテナを高く持つこと」の2点を心掛けているそうだ。

治療する側から予防する側へ

そんな佐藤さんが保健師を志した理由は、過去の看護師経験に遡る。

看護師時代に生活習慣病の最たる例である糖尿病の患者がとて多いことについて気になっていたそう。その時の外来や往診、訪問看護の経験を通して、「生活習慣病の予防に興味を持ったことがキッカケです。」と教えてくれた。

自身は健康より家族第一

普段から予防事業を通して市民に対する健康づくりに励んでいる佐藤さんであるが、ご自身の健康づくりは?と質問すると「できる限り早めに就寝することです。」とだけ答えてくれた。聞けば、共働き家庭でお子さんもいるため、家事などに追われてしまい、特にこれといったことは出来ていないとのこと。それでも、皮膚の弱いお子さんの保湿のために始めた、自家製ハーブを用いた化粧水やハンドクリーム作りが趣味と話し、家族想いな佐藤さんの優しさがうかがえる。

事業成果の「見える化」をはかる

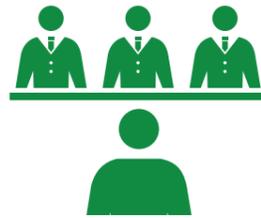
佐藤さんの今後の目標は、生活習慣病予防事業の成果を「見える化」すること。当該事業に携わり始めた当初は感覚で保健指導を行っていたが、今は数字での結果が求められるようになってきたと話す。加えて、国の保険者努力支援制度が前倒し実施され、各保険者の成果が公表されるようになり、これからは成果が見えるよう、「関係者をはじめ市民にもフィードバックできるようにしたい!」と答えてくれた。

たくさんの質問にご回答いただきありがとうございました!!

TOPICS

平成28年度 第2回通常総会

平成29年度
予算など原案どおり可決



2月17日、本会会議室にて、平成28年度第2回通常総会を開催した。
開会のあいさつにおいて、佐藤昭理事長(塩竈市長)は会員各位に対し謝辞を述べるとともに、平成29年1月12日に提出された厚生労働省設置の「データヘルス時代の質の高い医療の実現に向けた有識者検討会」の報告書にふれ、「審査基準の統一化を検討するに当たり、支払基金及び国保中央会並びに国保連合会による改革を一体的に進めるため業務効率化計画・工程表について、本年春を目途に基本方針の取りまとめを行うこととされている。」と、今後も情報収集を行いながら議論の行方を注視していく旨を述べた。



▲開会のあいさつを述べる佐藤理事長

さらに、平成30年度からの国保都道府県単位化について、「国保保険者の共同体である本会として、県・保険者との連携を図り、改革に伴うシステム導入や業務の変更、また審査支払業務の充実強化や保険者ニーズに応える事業展開に対し確かつ円滑に対応してまいりたい。」と表明した。



▲宮城県保健福祉部長からの祝辞
(代理:保健福祉部千葉次長)

次に来賓の祝辞に移り、宮城県保健福祉部長(代理:保健福祉部千葉次長)からは、参集者に対し日頃の国保事業運営への尽力に謝意を表するとともに、「国保都道府県単位化へ向け、県においても鋭意準備を進めているところであるが、制度移行が円滑にできるよう、なお保険者及び国保連合会の皆様からご協力を賜りたくお願い申し上げます。」と述べられた。



▲祝辞を述べる
宮城県歯科医師会細谷会長

同じく来賓の、宮城県歯科医師会細谷仁憲会長からは、「市町村国保並びに国保組合の保険者の皆様方には、急速な少子高齢社会の進展等による大変厳しい財政状況の中、地域住民の医療の確保、健康の保持増進、福祉の向上に多大なる貢献をされていることに対して、心より敬意を表すとともに、深く感謝申し上げます。」と祝辞をいただいた。



▲総会議長の佐藤副理事長

その後、総会議長に佐藤英雄副理事長(村田町長)が選任され、平成29年度の会員負担金・各種審査手数料及び事業計画、各種歳入歳出予算などについて審議を行い、全議案ともに異議なく原案のとおり可決承認された。

公告

平成29年2月10日開催の理事会において議決された下記事項について公告する。

公告第10号

諸規則等の全部及び一部改正

- ・役員の費用弁償に関する規則の全部を改正する規則
- ・会員等機械共同処理業務規程の一部を改正する規程

平成29年2月10日

宮城県国民健康保険団体連合会 理事長 佐藤 昭

平成29年2月17日開催の通常総会において議決された下記事項について公告する。

公告第11号

・役員の就任について

公告第12号

・平成29年度事業計画

公告第13号

- ・平成29年度会員負担金及び各種審査手数料等
- ・平成29年度各種会計歳入歳出予算

公告第14号

・次期国保総合システム運用業務に係る債務負担行為

公告第15号

・平成28年度各種会計歳入歳出補正予算

平成29年3月1日

宮城県国民健康保険団体連合会 理事長 佐藤 昭

※平成29年2月10日開催の理事会及び2月17日開催の総会において議決された事項については、本会ホームページに掲載



TOPICS

情報セキュリティの強化に向けISMS認証を取得！！

本会は、国保診療報酬、後期高齢者医療診療報酬及び介護給付費等の適正かつ公平な審査支払業務等を実施しており、国保診療報酬明細書(レセプト)等個人情報を中心とする重要情報を取り扱っています。

本会が保有する個人情報をはじめ、業務で取り扱う全ての情報資産を情報セキュリティの様々な脅威から保護することにより事業の継続性を確保することは、医療保険制度の円滑な運営を支える本会としての社会的責務であると考え、その対応について検討しておりました。

その結果、情報セキュリティの国際規格である

ISO/IEC27001の取得が必要不可欠であると考え、平成28年度においてその取得のための取り組みを実施してきたところでしたが、このたび、平成29年3月27日付けでISMSの認証を取得することができましたのでご報告いたします(下図は認定証の写し)。

今後は、この社会的責務を果たすため職員一丸となって、ISMSの規格に則り情報セキュリティに関する事項の継続的な改善を進めながら、情報セキュリティの精度を高めて、情報資産の安全で適切な管理の確保に努めてまいります。



平成28年度健康器材貸出ランキング

本会では、健康づくりのための保険者支援の一環として、国保主管課等で実施する事業に対し、健康教育器材や着ぐるみなどの貸出を行っています。今回は、平成28年度に貸出した健康器材をランキングで紹介します！

申込み先・問い合わせ先
事業推進課保健事業係
TEL番号:022-222-7077
FAX番号:022-222-7260
申込用紙:スターオフィスキャビネット一覧
-事業-健康器材借用書関係



「脳年齢計」

「ゲーム感覚で楽しく簡単に脳年齢やストレス度をチェックできます。タッチパネル上の数字を順番に押していくことで記憶力と処理能力の傾向が分かります。」



「BCチェッカー」

「抹消血液循環の血液の機能状況を測定することができます。測定結果は同年代の人達と比較して評価されます。」



「血管年齢計 血行美人」

「指先の抹消血液循環で血管老化度がわかります！測定器に手のひらを置くだけで簡単に測ることができます。」



「骨密度測定装置(かかと位置)」

「かかとを使って骨密度を簡単に測定できます。性別・年齢別の平均値に対して5段階で分かりやすく測定結果がでます。」



「NEO活齡(かつとし)」

「活力年齢で身体の年齢を測定し、同年代の平均と比較ができます。また、肥満やカロリーチェックもできる健康測定器です。」



今回、紹介した健康器材以外にも、さまざまな健康器材がありますので、詳しくは本会事業推進課保健事業係までお気軽にお問い合わせください。

国保料(税)収納率向上対策に係るPRポスター、広報グッズの紹介

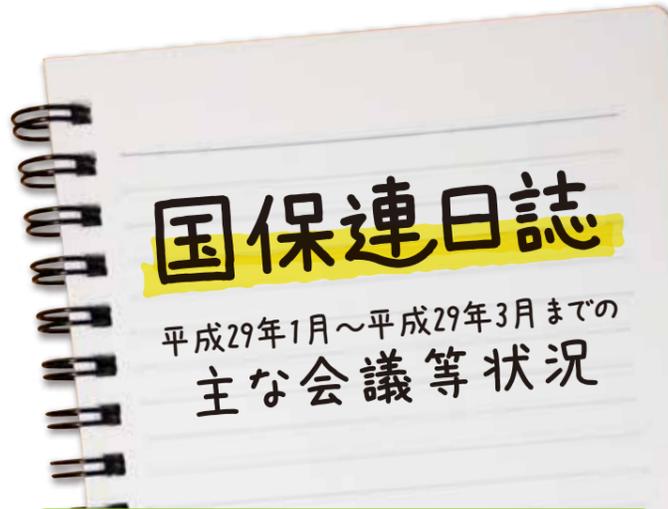
本会において、「新・国保3%推進運動」の一つである保険者の国保料(税)収納率向上対策に資するため、PRポスター及び広報グッズ(ポケットティッシュ)を作成しました。各保険者へは、既に配布をしておりますので、被保険者の国保料(税)に対する意識向上にご活用ください。



PRポスター



広報グッズ(ポケットティッシュ)



国保連日誌

平成29年1月～平成29年3月までの
主な会議等状況

平成29年1月

①介護保険・障害者総合支援番号 制度説明会

18日、市町村介護保険・障害福祉担当職員参加の下、介護保険・障害者総合支援番号制度説明会を開催しました。

説明会では、本会職員から個人番号を利用した高額障害福祉サービス費等支給処理の概要等について説明を行いました。



平成29年2月

②平成28年度国保中央会審査担当職員 実務研修

3日、国保中央会審査担当職員を講師に招き、本会審査担当職員を対象に研修を行いました。研修内容は、国保中央会において開催している「特別審査委員会」での事例をはじめ、高点数等入院レセプトから審査の着眼点などを学ぶもので、参加した職員は審査の質の向上のため励んでいました。



平成29年1月

- 11日(水) ・平成28年度宮城県栄養士設置連絡協議会研修会
- 16日(月) ・柔道整復療養費審査委員会
- 18日(水) ・介護保険、障害者総合支援番号制度説明会 ……①
- 19日(木)～24日(火)
 - ・診療報酬審査委員会
- 25日(水) ・介護給付費等審査委員会介護医療部会
- 27日(金) ・介護サービス苦情処理委員会
- 30日(月) ・平成28年度第3回保健師・栄養士等各種研修会

平成29年2月

- 2日(木) ・保険者協議会
 - ・三役会議
- 3日(金) ・平成28年度国保中央会審査担当職員実務研修…②
 - ・介護給付費等審査委員会審査部会
- 9日(木) ・第2回保健事業支援、評価委員会
- 10日(金) ・理事会
- 11日(土) ・健康づくり支援事業(東松島市)
- 16日(木) ・柔道整復療養費審査委員会
- 17日(金) ・通常総会 ※P8～9参照
- 17日(金)～22日(水)
 - ・診療報酬審査委員会
- 20日(月) ・平成28年度在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会
- 23日(木) ・第3回保健事業支援、評価委員会
 - ・介護給付費等審査委員会介護医療部会
- 24日(金)～25日(土)
 - ・宮城県国保診療施設協議会役員会、開設者合同会議
- 27日(月) ・宮城県国保運営協議会連絡会監事会、委員会

平成29年3月

- 2日(木) ・第4回保健事業支援、評価委員会
- 7日(火) ・平成28年度宮城県国保運営協議会連絡会通常総会、研修会
 - ・レセプト利活用モデル事業(七ヶ浜町)
- 14日(火) ・次期国保総合システム及び国保情報集約システム担当者説明会 ※P6～7参照
- 15日(水) ・介護保険審査支払等システム変更等に係る市町村介護保険担当者説明会
- 16日(木) ・柔道整復療養費審査委員会
- 21日(火) ・元気な高齢者支援事業(蔵王町)
- 22日(水)～27日(月)
 - ・診療報酬審査委員会
- 23日(木) ・介護サービス苦情処理委員会
- 24日(金) ・介護給付費等審査委員会介護医療部会

介護保険給付適正化システム等 ブロック別説明会

- 1月23日(月) ・大崎合同庁舎
- 26日(木) ・大河原合同庁舎
- 27日(金) ・石巻合同庁舎
- 30日(月) ・本会第2会議室

ヘルスサポート支援事業

- 1月 24日(火) ・大和町
- 25日(水) ・美里町
- 2月 1日(水) ・南三陸町
- 8日(水) ・南三陸町
- 16日(木) ・多賀城市

国保連職場紹介

平成30年度の新国保制度移行を迎えるにあたり、保険者標準事務処理システムの導入など、平成29年度は重要な1年となります。本会は、これまで以上に保険者業務を支援すべく、平成29年度についても前年度同様7課1室体制で業務に邁進していきます。つきましては、「国保連職場紹介」と題しまして、今年度1年間を通して本会各課の業務などを紹介しますので、お問い合わせの際はご活用ください。

4月号は、情報管理課と新国保制度対策室の紹介です。

■ 情報管理課

情報管理課は、共同処理係とシステム係の2つの係に加えて保険者標準事務処理システム担当(兼務者含む)があり、課長を含む職員10名で構成されています。

業務内容について、まず共同処理係では①保険者との共同処理業務(高額療養費、高額医療・高額介護合算、国保及び乳幼児異動処理、医療費通知・後発医薬品差額通知作成など)、②過誤調整及び保険者間調整、③全国決済業務の総括、④国保事業月報・年報、⑤後期高齢者医療広域連合対応、⑥保険者関連の各種システムの問い合わせ対応などを行っております。

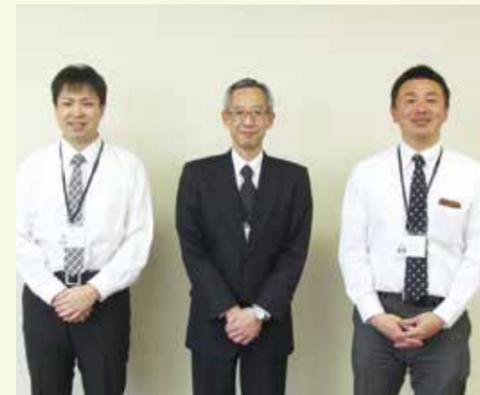
次にシステム係では、①国保総合システム、後期高齢者医療請求支払システム、保険者業務支援システム、レセプト電算処理システム、オンライン請求システム(保険医療機関及び薬局がレセプト請求時に使用)などの運用・管理、②保険者ネットワークなど回線の管理、③ISMS/ISO27001取得・継続更新といった情報セキュリティ対策などを行っております。

保険者標準事務処理システム担当については、新国保制度の安定運営に当たり重要となる保険者標準事務処理システムの導入に向け、機器調達・導入作業や契約関係などの実務を担っております。

なお、情報管理課では現行国保総合システムの安定稼働、次期国保総合システムや国保情報集約システムなどの円滑導入及び安定的運用に取り組むとともに、保険者業務のサポートに努めてまいります。



■ 新国保制度対策室



平成30年度からの新しい国保制度の施行に向けた準備をするために設置された部署で、宮城県との連携や本会各課との調整役を担っています。職員は室長(事務局次長(総務担当)が兼務)と室員2名(総務課兼務)の3名です。平成29年度は新制度に向けた地固めを行う大事な年ですので、国の動きを注視し、宮城県と連携を図り円滑な施行に向けて取り組んでまいります。

お問い合わせ先

【情報管理課】 022-222-7170(TEL)

【新国保制度対策室】022-222-7070(TEL)(総務課・財務課と共用)

人事異動

宮城県保健福祉部国保医療課

▶転任等			▶転入等		
新所属	氏名	旧所属	新所属	氏名	旧所属等
監査委員会事務局	高橋正隆	保健福祉部副参事兼国保医療課長補佐(総括担当)	副参事兼国保医療課長補佐(総括担当)	山田憲彦	農林水産部森林整備課
北部地方振興事務所総務部	加藤孝徳	国保医療課長補佐(班長)	国保医療課主幹	青木裕昭	総務部税務課
農林水産部農林水産経営支援課	佐久間睦子	国保医療課主任主査	国保医療課主査	高橋賢子	公務研修所
震災復興・企画部総合交通対策課	中野目良子	国保医療課主査	国保医療課技術主査	三浦有紀	仙台保健福祉事務所
宮城海区漁業調整委員会事務局	八巻真衣	国保医療課主事	国保医療課主事	山中茂	経済商工観光部商工金融課
東部地方振興事務所	今野雄貴	国保医療課主事	国保医療課主事	阿部優人	(採用)
			国保医療課主事	遠藤洋平	(富谷市から派遣)

国保連合会

▶異動等(係長以上及び新規採用)			▶派遣職員		
新所属・職名	氏名	旧所属・職名	新所属・職名	氏名	旧所属・職名
事務局次長兼財務課長兼新国保制度対策室長	小室正良	事務局次長兼新国保制度対策室長	審査業務課主幹兼第六係長	大窪享子	財務課主幹兼財務係長
審査業務課課長	齋藤正浩	財務課課長	介護保険課主幹兼苦情相談係長	菊地慎	審査業務課主幹兼第六係長
総務課副参事	大窪正己	介護保険課課長補佐兼苦情相談係長	介護保険課主事	壺岐友輔	新規採用
審査業務課副参事	鈴木潤	事業推進課課長補佐兼事業係長	審査業務課主事	青木万知	新規採用
▶転任等			▶退職		
新所属・職名	氏名	旧所属・職名	旧所属・職名	氏名	備考
総務課主事(国保中央会派遣)	小田島有吾	情報管理課主事	審査業務課課長	浅野敦子	平成29年4月1日付け再任用
			審査業務課副参事	壺岐ひさ子	平成29年4月1日付け再任用
			審査業務課課長補佐兼第五係長	岩渕淳子	

求償事務相談員就任のお知らせ

佐々木 治雄 相談員

●経歴
 S49.3東北大学経済学部卒
 S49.4大正海上火災(現三井住友海上火災)保険(株)入社
 H15.5損害保険料率算出機構 青森自賠責損害調査事務所入所
 (この間、14年にわたり青森、仙台、盛岡、山形の自賠責損害調査事務所勤務)
 H29.3損害保険料率算出機構 山形自賠責損害調査事務所長退任
 H29.4現職

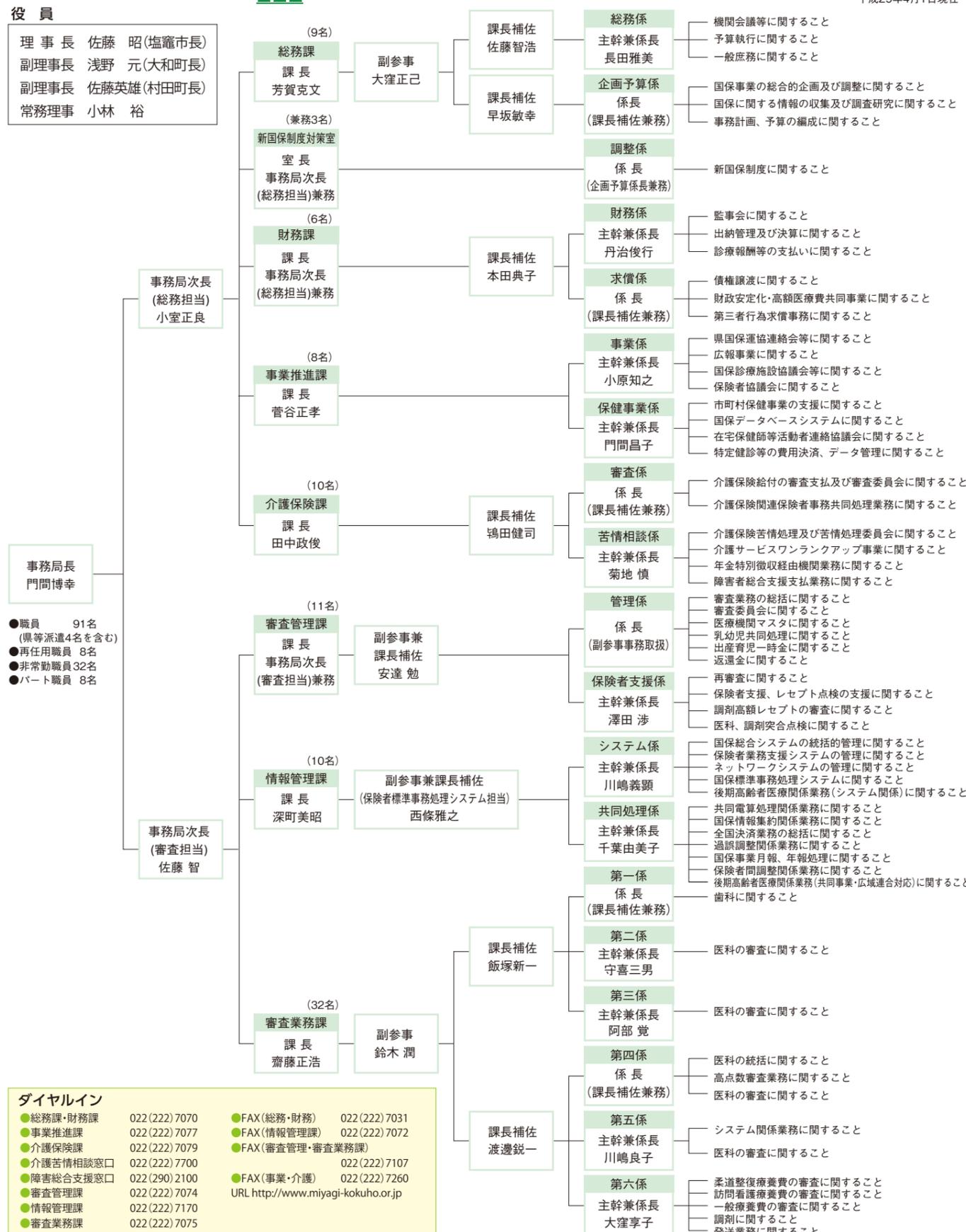
●趣味
 人様に披露できるようなものは…。ただ、読書は好きで特に「時代劇小説」が好みます。

●一言
 「元々損害保険会社の出身で、その後14年間自賠責損害調査事務所に勤務し、国保連合会からの求償事案もかなりの数対応しております。4月からは逆の立場での仕事になりましたが、過去の経験が活かさればと思っております。」

●問い合わせ先
 財務課求償係 **022-222-7070**

事務局組織図

平成29年4月1日現在



旬の食材でポイントUP美味レシピ



旬の食材 春キャベツ

3～5月に収穫されるものは、冬キャベツに比べて葉が柔らかく、みずみずしいのが特徴です。サラダなど生で食べてもおいしいですし、調理の際は加熱時間が短くて済みます。

旬の食材 あさり

鉄分やカルシウムが多く、コハク酸といううま味成分も含まれており栄養豊富な貝です。スープや酒蒸しなど出汁ごと味わえる調理方法がおすすめです。



春キャベツの和風クラムチャウダー

1人当たり栄養価 エネルギー：168kcal たんぱく質：9.8g 塩分：1.4g

材料(2人分)

キャベツ	50g	牛乳	150ml
にんじん	20g	水	150ml
コーン(缶詰)	20g	仙台味噌	小さじ2(12g)
ベーコン	25g	黒こしょう	少々
あさり	殻つき100g(正味40g)	粉チーズ	適宜
サラダ油	小さじ1		

下準備

*あしりは砂抜き、殻をこすり合わせてよく洗っておく。

作り方

- 1 キャベツは一口大にちぎる。ベーコンは1cm位の角切りにする。にんじんは厚さ5mm位のいちよう切りにする。
- 2 鍋にサラダ油を熱し、ベーコンを炒めたらにんじん、水切りしたコーン、あさりの順に加え、全体をよく混ぜる。
- 3 水とキャベツを加え、弱火で煮る。※アクが出た場合は取り除く
- 4 あさりの口が開いたら、みそを溶かし入れ牛乳を加える。
- 5 スープが沸騰しないように注意しながら弱火のまま温める。
- 6 お椀に盛り付け、黒こしょうをふりかけたら出来上がり。
※お好みで粉チーズをふりかける(まろやかになります)。

調理上のポイント

- あさりの砂抜きの際には、あさが吐いて沈んだ砂を再び吸い込ませないよう、ざるや網などを使って貝が容器の底につかないようにしましょう。
- 牛乳やみそは沸騰させてしまうと、風味がとんでしまうので、弱火で温めましょう。



美里町健康福祉課健康推進係技師
(行政栄養士2年)

まつい れいな
松井 玲奈

好きな料理: 鍋料理

～美里町の食～

本町では米や野菜、果物など様々な農作物を生産しており、産直販売店「はなや かいちぼ花野果市場」などを通じて各家庭で地場産品が利用されやすい環境となっております。また、学校給食でも多くの地場産品が使用され、「ふるさと美里の恵を知る食育」を実践しています。

町内の飲食店では郷土料理の「すっぽこ汁」が味わえる店舗もあり、特に秋～冬にかけては複数の店舗でスタンプラリーが実施され賑わいを見せております。美里町にお越しの際は食べ比べてスタンプを集めてみてください。素敵な景品が当たるかもしれません。

また町の特産品である北浦梨が旬の9月頃からは、町内外で「北浦梨フェア」が展開されています。お見かけの際には是非ご賞味ください。